

質問順位	12	質問者	渡邊龍之議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 市民の信頼回復について	1. 公用車の車検切れを失念し車両を運転していた。酒気帯び免許にも関わらず車両を運転していた。公務員のアルバイトが発覚した。このような不祥事が続いたことに市民は大変怒っています。滝川のホームページには、おわびを掲載していますが、市民の多くはホームページを見ていません。市民から公務員としてのモラルが問われている中、二度繰り返さないためには、個人的な問題とはせず、市役所全体が目を見守るべき問題であることを認識しなければならないと思います。改めて、市長としての見解を伺います。		
	2. 滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1. 新たなステージに向け、第1期の総仕上げに入ってます。各分野での評価と検証がなされ、本年度末には第2期の総合戦略を策定予定と聞いています。国・道から指針が示されると思いますが、滝川市としての独自性を強く打ち出す必要があると考えます。そうしなければ財政支援も難しくなります。6月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」を踏まえ第1期戦略を継続しつつ一層充実強化した内容が求められるが、基本的目標はどのように考えているのか伺います。		
	3. 子ども・子育て窓口の一本化について	1. これからのまちづくりのベースは、子育て世代に対する支援が必要と考えます。子どもの声が響き、子育てする若い親がいる限り少子化は避けることができ、子ども・子育てに優しいまちづくりを進めることが必要と考えます。いろいろな課題があることを承知の上で子ども関連施策を担当する部署が縦割りではなく、横断的に連携し窓口や情報の一本化を図り、行政サービスの一元化に取り組むことに対する考えについて見解を伺います。		

質問順位	12	質問者	渡邊龍之議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
2. 建設行政	1. 排雪（雪捨て場）について	1. 大型ダンプによる排雪は中島町の河川敷地に搬入しています。市内の中心部の町内会等の排雪では、捨て場まではさほど時間を要しません。しかし、東滝川地区においては、往復20数km離れていることから、日数が2日から3日ほどかかります。当然経費も高くなります。従前は、東滝川地区の排雪は空知川河川敷に搬入していたようだが、現在は使用されていません。北海道開発局札幌開発建設部と東滝川地区の排雪搬入については、大型車も空知川河川敷へ搬入できるよう協議することについての考えを伺います。		
3. 教育行政	1. 不登校の取り組みについて	1. 不登校に至る経緯としては、何らかの心理的、身体的等の理由から登校しない、あるいは登校できない状況に陥ってしまう。また文部科学省の調査では、30日以上欠席をすることが不登校としております。市教委として、不登校児童生徒が不登校になる経緯や状況を把握されているのか。また、新学期になると情緒が不安定になり学校に行きたくないというサインを家庭と共有されることが望ましいが、不登校に対するマニュアル的なものが存在するのか併せて伺います。		
	2. 小学校の英語教科化について	1. 文部科学省が発表した新学習指導要領では小学校5年生から英語が教科となり成績がつくことになります。現行においては外国語指導助手（ALT）による指導で英語に親しみ、慣れ、楽しむことが求められていると思います。教科となると英語ができるようにしなければなりません。そこで小学校での英語の必要性についての教育委員会としての考えと、現場において英語指導できる教員の現場での対応について併せて伺います。		